

展覧会

ユネスコ無形文化遺産登録記念 北大路魯山人の美 和食の天才

～8月16日(日)まで

Kitaoji Rosanjin: A Revolutionary in the Art of Japanese Cuisine

今回の展覧会では、「器は料理の着物」として、和食の魅力を追求し、その革新に挑んだ北大路魯山人の作品世界を通じて、彼の自然観やもてなしの精神を結晶させた器と料理の関係を紹介しています。展示室には、国内の美術館や魯山人とゆかりの深い料亭、個人所蔵家の手元で大切に保管されてきた魯山人作品・資料のなかから厳選された135点が揃いました。とりわけ島根県の足立美術館が所蔵する約270点の魯山人コレクションから選りすぐりの約60点を展示し、魯山人のもてなしの美を示す代表作をまとめてご覧いただける、またとない機会となっています。



北大路魯山人《染付バイ向付》1935年頃、足立美術館蔵



会場の様子

本展は、「魯山人と古陶磁一古きに倣う」、「魯山人流もてなしの開花一自然に宿る美」、「魯山人と和食一器を通して広がる世界」の3つのセクションから構成されています。会場の最後には、江戸前鮎をバーチャルに体験できるインスタレーションもご紹介します(写真右)。カウンターに座った気分で、魯山人の俎板(まないた)皿の上に料理が出される様子をお楽しみください。なお、7月31日(金)と8月1日(土)には、「食卓のある映画」と題して、当館1階講堂にて映画上映会 MoMAK Films を開催します。詳しくは裏面をご覧ください。



映像インスタレーションの様子

「北大路魯山人の美 和食の天才」展 特設サイト
<http://kitaoji-rosanjin.jp>

本展では、作品保護のため展示室内の温度を22℃前後に設定しております。ご観覧の際は、上着などをお持ちになることをお勧めいたします。

イベント報告

友の会特別解説会を開催しました

☆5月8日(金)「現代美術のハードコアはじつは世界の宝である展 ヤゲオ財団コレクションより」

「ヤゲオ展」の特別解説会では、美術品コレクターの視点からの解説が付けられていることや、ヤゲオ財団コレクションの特徴の一つであるアジアの現代作家について詳しく解説しました。参加された方々は、時には作品に近寄ったり、離れてみたりしながら、じっくりと作品に向き合って鑑賞を楽しまれていました。

☆6月27日(土)「北大路魯山人の美 和食の天才」

「魯山人展」の特別解説会では、魯山人のユニークな発想から生み出された大鉢や俎板皿(まないた)について、現代の和食文化にも脈々と息づく器であることを説明しました。また、当館所蔵品の川端龍子《佳人好在》と、今回撮りおろしの上田義彦の写真が、ともに瓢亭を舞台(こうつたい)にしていることを紹介しました。参加された方々が、器のデザインや高台といった細部に注目し、また実際にどんな料理を盛り付けるだろうかと、お互いに意見交換しながら展示を楽しんでいたのが印象的でした。



(左)「ヤゲオ展」特別解説会(5/8実施)の様子、(右)「魯山人展」特別解説会(6/27実施)の様子

展覧会 ポスターにみる ミュージカル映画の世界

Musical Films in Posters

～8月16日(日)まで 4階コレクション・ギャラリーにて



本展では、54枚のミュージカル映画のポスターと23点のスチール写真をご覧いただけます。懐かしの映画の世界に会いに、是非お越しください。

☆友の会会員証のご提示で、本展を無料で観覧いただけます。

友の会特別解説会

「ポスターにみる ミュージカル映画の世界」展、および第2回コレクション展から「絵の中のうつわ」展示について解説します。

日時：7月31日(金) 午後6時～6時50分

集合場所：当館4階コレクション・ギャラリー入口

※当日は、開始5分前までにお集まりください。

募集人数：先着20名

解説者：池田 祐子(当館主任研究員)

申し込み先：京都国立近代美術館 総務係

電話：075-761-4114(月曜から金曜まで 午前10時～午後5時)

Email：info@ma7.momak.go.jp

(件名は「友の会特別解説会申し込み」としてください。)

※お申込の際は、お名前・会員番号をお伝えください。

平成27年度 第2回 コレクション展 ～8月16日(日)まで

コレクション・ギャラリーでは、3階で開催中の「北大路魯山人の美 和食の天才」に関連して、「絵の中のうつわ」や「装うための工芸」と題したコレクション展示を行っています。日本画のセクションでは現在、後期展示として、不動立山《夕立》や丸岡比呂史《夏の苑》など、盛夏にちなんだ作品を展示しています。

また戦後70年にちなみ、写真家・東松照明が捉えた戦後の沖縄と長崎の写真も紹介しています。

主なテーマ

- 絵の中のうつわ
- 夏の日本画
- 没後70年記念 橋本関雪特集
- 東松照明の写真
- 装うための工芸
- 河井寛次郎 作品選
- 一川勝コレクションより
- オール・オーバーな抽象絵画
- 常設屋外彫刻



会場写真：装うための工芸（上）、オール・オーバーな抽象絵画（下）



NFC 所蔵作品選集 MoMAK Films 2015

「食卓のある映画」

今回の MoMAK Films では、展覧会「北大路魯山人の美 和食の天才」にあわせて「食卓のある映画」をテーマに作品をピックアップしています。ぜひ足をお運びください！

7月31日(金) 午後7時～

『家族ゲーム』監督：森田芳光 1983年(106分・35mm・カラー)
出演：松田優作、伊丹十三、由紀さおり、宮川一朗太ほか

8月1日(土) 午後2時～

『秋日和』[デジタル復元版]
監督：小津安二郎 1960年
(129分・35mm・カラー・英語字幕付)
出演：原節子、司葉子、岡田茉莉子、佐田啓二ほか



『秋日和』より

8月1日(土) 午後4時30分～

『隣の八重ちゃん』監督：島津保次郎 1934年
(76分・35mm・白黒・英語字幕付)
出演：岩田祐吉、飯田蝶子、岡田嘉子、逢初夢子ほか

1プログラム：520円(当日券のみ)

チケットは会場入口にて販売

*7月31日は午後6時30分より、8月1日は午後1時30分より販売開始

会場：当館講堂

各回入替制・先着100席

企画協力：

北小路隆志(映画評論家/京都造形芸術大学准教授)

板倉史明(神戸大学大学院准教授)

京都国立近代美術館賛助会員・一般会員

当館は下記、賛助会員の皆様からご支援・ご支持をいただいております。



次回展覧会 現代陶芸の鬼才 栗木達介展

Kuriki Tatsusuke: Retrospective

8月28日(金)～9月27日(日)

栗木達介は、1943年に愛知県瀬戸市に生まれました。京都市立美術大学で富本憲吉・近藤悠三・藤本能道らに学び、特に富本には最後の学生として大きな影響を受けました。卒業後は、郷里瀬戸に戻って作陶活動を始め、主に手捻(びね)りによる作品を発表しました。

その新しい造形意識と卓越した技術は、朝日陶芸展での3度の大賞受賞をはじめ、中日国際陶芸展、日展などの公募展で受賞を重ね、高い評価を受けます。

本展は、「模様から模様を作らず」を旨とした富本憲吉を師匠に、器物に現代的な加飾を施すことで現代陶芸に一石を投じた加守田章二を先輩に持った栗木達介の仕事を検証し、戦後の前衛陶芸や現代陶芸を考察する展覧会です。



栗木達介《あおい作品》
1969年、当館蔵

*講演会等の情報は、当館ホームページからご確認ください。
<http://www.momak.go.jp/Japanese/exhibitionArchive/2015/409.html>

「栗木達介展」友の会特別解説会

日時：8月28日(金) 午後3時～4時

集合場所：当館1階ロビー

※当日は、開始5分前までにお集まりください。

募集人数：先着20名

解説者：松原 龍一(当館学芸課長)

申し込み先：京都国立近代美術館 総務係

電話：075-761-4114(月曜から金曜まで午前10時～午後5時)

Email: info@ma7.momak.go.jp

(件名は「友の会特別解説会申し込み」としてください。)

※お申込の際は、お名前・会員番号をお伝えください。



facebookに当館のページを立ち上げました！

展覧会や各種イベント情報、展示室の様子や作品紹介など、京都国立近代美術館に関連する情報や話題を発信しています。



当館のホームページ(<http://www.momak.go.jp>)上からもご覧いただけます。お気軽にチェックしてください。